

第3回大田原市総合計画審議会 議事録

- 1 日 時 令和8年7月31日（金）13時30分～14時40分
- 2 場 所 大田原市役所本庁舎3階 301・302会議室
- 3 出席者 大田原市総合計画審議会委員（委員総数19人：欠席1人）
- 4 内容

(1) 会長あいさつ

- ・ 熊本地震の被災地では、将来への不安を抱えながらも、目の前の課題に一つひとつ取り組んでいる姿が印象に残っている。「将来を思い煩うな、今為すべきことを為せ」という言葉があるが、総合計画の策定もまさに同様であり、将来を見据えながらも、今取り組むべきことを着実に積み重ねていくことが重要である。本日は基本構想素案について審議いただき、次回は基本計画について議論を深めていきたい。

(2) 議事

【協議事項】

① 基本構想素案について【資料1】

- ・ 事務局より、基本構想素案について説明した。主な説明内容は次のとおり。
- ・ 基本構想素案の構成及び前回提示した骨子案からの主な変更点について説明した。
- ・ 「大田原市を取り巻く時代の潮流」の内容を整理するとともに、公共施設の適正管理に関する視点を新たに加えた。
- ・ 基本理念については、市民憲章の理念を基本としつつ、より分かりやすい表現となるよう文言を一部見直した。
- ・ まちの将来像を「こどもの笑顔と地域の誇りが未来を拓き みんなで創る おおたわら」とし、その考え方を説明した。「こどもの笑顔」は子育て・教育を、「地域の誇り」は地域資源を生かしたまちづくりを、「未来を拓き」は将来への希望を、「みんなで創る」は行政だけでなく、市民・事業者・各種団体など多様な主体が協働してまちづくりを進める姿を表現したものである。
- ・ 基本政策については、現行計画の6つの基本政策を8つに再編し、「子育て・教育」及び「安全・安心」の分野を独立した基本政策として位置付けた。
- ・ 将来人口フレームについては、「趨勢人口」と「目標人口」の2つの考え方を設定した。基本計画における事業検討は趨勢人口を基本としつつ、未来創造戦略では人口減少の抑制を目指す目標人口を設定する考え方を説明した。
- ・ 就業人口については、進展シナリオ、漸進シナリオ、現状シナリオの3つのパターンを推計していることを説明した。
- ・ 土地利用構想については、骨子案から大きな変更はないことを説明した。
- ・ 施策の大綱については、各基本政策に含まれる施策分野の概要を説明した。
- ・ 用語解説については、市民に分かりやすい計画とするため掲載する予定であり、印刷時には各ページの脚注に掲載する方向で検討していることを説明した。

質疑・意見

- ・ 基本政策を6つから8つへ再編した趣旨について伺いたい。どのような考え方で見直しを行ったのか。(委員)
- ⇒子育て・教育分野及び安全・安心分野の重要性を踏まえ、それぞれを独立した基本政策として位置付けた。また、教育については、妊娠・出産から子育て、学校教育まで切れ目のない支援となるよう整理した。(事務局)
- ・ 審議会ではどこまで議論すればよいのか。また、今後具体的な施策を検討する際には、誰が主体となって取り組むのかを明確に示してほしい。(委員)
- ⇒審議会では基本構想及び基本計画に対する幅広い意見をいただき、市が最終的な計画案を取りまとめる。施策の主体は行政であるが、市民・事業者など多様な主体がそれぞれの役割を担いながら協働して進めることを基本としている。(事務局)
- ・ 新たな工業団地の整備や企業誘致について、基本構想では表現がやや抽象的であり、方向性が伝わりにくい。雇用の創出や人口減少対策につながる重要な施策であることから、新規産業団地の整備や企業誘致の考え方をより明確に示すべきではないか。(委員)
- ⇒基本構想では方向性を示すことを目的としており、具体的な内容については、今後策定する基本計画の中で、施策のストーリーや取組内容を整理していく。(事務局)
- ・ 用語解説について、専門用語や難しい漢字にはルビを付けるなど、市民が理解しやすい工夫をお願いしたい。また、各ページに掲載する方法と巻末にまとめる方法の双方に利点があるため、見やすさを考慮して整理してほしい。(委員)
- ⇒用語解説の掲載方法については、分かりやすさや見やすさを踏まえ、庁内で検討する。(事務局)
- ・ 防災・減災の視点について、災害対応だけでなく、防災・減災のための社会基盤整備や維持管理の考え方をより明確に記載した方がよい。また、「整備」だけでなく「維持管理」という視点も盛り込むべきではないか。(委員)
- ⇒防災・減災に関する考え方については、関連する施策の中で位置付けているものと認識しているが、ご指摘を踏まえ、表現について検討したい。また、「維持管理」の表現についてもあわせて検討する。(事務局)
- ・ 将来人口フレームについて、2025年国勢調査等の新たなデータが公表された場合には、実績値も更新されるのか。(委員)
- ⇒最新の統計データが公表された段階で、実績値については適切に修正する予定である。(事務局)
- ・ 目標人口については、やや高い目標となっている印象を受ける。現実的な水準を踏まえた設定とした方がよいのではないか。(委員)
- ⇒目標人口については、国・県の推計や将来展望を踏まえて設定している。一方で、現実性にも配慮し、社会動態の前提条件については「2035年以降は社会動態が均衡する」考え方へ修正する予定である。(事務局)
- ・ 基本政策を8つへ再編したとのことだが、「安全・安心」の分野は現行計画ではどのような位置付けだったのか。(委員)

⇒現行計画では他の基本政策の中に含まれていた分野を独立させ、新たな基本政策として整理した。また、子育て・教育分野についても、既存の政策体系を再編して位置付けている。(事務局)

- ・ 将来像に「こどもの笑顔」が盛り込まれたことは、大田原市らしさが伝わる分かりやすい表現であり評価できる。出産・子育てから学校教育までを一体的に位置付けた考え方も理解しやすい。(委員)
- ・ 人口減少対策を考える上でも、出産・子育て・教育の充実は重要な視点であり、今後の施策にも期待したい。(委員)
- ・ 将来像に「みんなで創る」という表現が盛り込まれていることは評価できる。行政だけではなく、市民や地域が主体的に関わりながらまちづくりを進めていく考え方が、今後の施策にも反映されることを期待したい。(委員)

その他

- ・ 特になし

事務連絡 【事務局】

- ・ 各委員へ意見書様式を配布した。追加意見がある場合は、所定の様式のほか、任意様式又は電子メールによる提出も可能である旨を説明した。
- ・ 今後、委員から提出された意見を踏まえて基本構想素案を修正し、8月下旬からパブリックコメントを実施する予定であることを説明した。
- ・ 次回の日程(令和8年10月23日)を連絡した。